サービス領域－４

第3回
いしかわエコデザイン賞2013
応募製品・サービス

能登ふぐ事業協同組合

能登ふぐを活用した地域振興と里海保全

名称
能登ふぐを活用した地域振興と里海保全

背景
石川県で天然「ふぐ」が全国一漁獲されていることは地元住人の方でもあまり知りません。それは、地元で「ふぐ」が消費されず、下関や関西方面など大量消費地に向けて出荷されているからです。
能登沖では「とらふぐ」をはじめとして、「さばふぐ」「ごまふぐ」「真ふぐ」「銀ふぐ」「ショウサイフグ」など食用「ふぐ」が多種多様に漁獲されます。能登では漁業においても乱獲をせず、また山林の手入れが行われているからこそ「ふぐ」の生態系が持続されてきたものと思われます。また、里山・里海の恩恵により七尾湾にはふぐの産卵に適した場所があり、毎年春先に「ふぐ」が産卵のために能登に集まってくることも石川県が天然「ふぐ」の漁獲高が全国一になっている要因です。

能登沖で大量に水揚げされる「ごまふぐ」

事業内容
・地産地消による地域振興と持続可能な地域づくり
金沢地域の飲食店で「下関」から「ふぐ」を仕入れている方がたくさんいらっしゃいます。能登地域では「ふぐ」を食べる文化すらあまりありません。せっかく能登で水揚げされた「天然ふぐ」ですので、地域で食していただけるように「ふぐ食」の開発を地域飲食店・民宿・旅館・ホテルなどと連携して行い、誘客につなげるとともに、漁師・水産加工会社においても少しでも売り上げを伸ばし、雇用の持続につなげられるように活動を進めております。

天然・養殖の食べ比べ

モニタリングの実施

・里山里海の保全
漁具の進歩、生活環境の変化に伴い、「とらふぐ」水揚げ量が減少してきたことから、行政支援を受けて「とらふぐ」放流事業が５年間にわたって行われてきました。今後は民間の力で漁獲高保全を行えるように全国の「能登」ファンに対して「放流用稚魚」購入資金を募る「里親」システムを開発中です。

能登ふぐ事業協同組合（石川県七尾市能登島向田町１２２部１４番地）